

中学3年 国語「俳句の可能性」「俳句を味わう」 俳句の創作教室

ねらい

- ・俳句の表現意図による語句の使い分けに着目することができる。
- ・俳句の作者の表現意図を考え、表現のしかたを評価することができる。

学習展開（4時間）

- ①・単元の見通しを確認した後、「俳句の可能性」を読み、俳句の決まり事や形式を確認する。
 - ・教科書掲載の俳句を音読し、筆者の評価のしかたを捉える。
- ②「俳句を味わう」から好きな句を選び、班ごとに分析する。
- ③・学校図書館の本を活用し、俳句を作成する。
 - ・歳時記や写真集などから着想を得て、創作に役立てる。
 - ・俳句と俳号を作成して Forms で収集する。
- ④・クラスで句会を開く。
 - ・気に入った俳句を選び、鑑賞文を書く。
 - ・投票し、投票数の多い俳句を発表する。

指導のポイント

「俳句の可能性」では、気軽な感覚で自由に俳句を作り、出来上がった俳句は、その瞬間の気持ちを鮮やかに映し出した、作者だけの大切な記録となると述べられている。俳句を創作し、鑑賞することで俳句の魅力に気づかせたい。

<以下、指導のポイント>

- ・本を実際に手に取り、歳時記を読むことで自分にはない語彙に触れ、それを使って俳句を作成させる。
- ・直接的な感情の表現は避け、切れ字などの習ったことを用いて作成させる。
- ・鑑賞する際は、語句や表現がどんな効果があるか記述させる。



学校図書館との関わり

- ◇学校司書に依頼し、一人1冊、手元に本が渡るように冊数をそろえてもらった。
- ◇本は、季節ごとに分かれているものや、全て掲載されているものなど多様な種類を用意してもらった。
- ◇図書館で授業を行うことで、用意した資料だけでなく他の資料から着想を得たり、調べ途中で言葉が分からない生徒や迷っている生徒は、同じ机の生徒に聞いたりして作成することができた。